

私の政策

1. 教育、子育て支援を充実させ次世代の人づくり
2. 農業、商業、産業を通し活力ある県土づくり
3. 歴史、文化、自然を大切に誇りあるふるさとづくり
4. 少子高齢社会での安心安全な地域づくり

携帯でも更新中!



皆様のご意見、ご要望をお気軽にお寄せ下さい

〒963-8041 福島県郡山市富田町前川原 22
メールアドレス tomokon@circus.ocn.ne.jp

TEL:024-951-0341 FAX:024-951-0361
ホームページ http://www.nagaotomoko.info



内環状線 全面開通へ

Tomoko Nagao Report



平成4年に富田東土地区画整理組合事業がスタートしてから、長年懸案だった内環状線の未開通部分がいろいろな方々の努力によって、今年の秋に開通する事になりました。

私は地元の議員として三年前から地権者とのコンタクトを取り、地権者の思いを聞き取り、市との話し合いを進めて来ました。又、私の父(故長尾勝正)も15年前に建設業として内環状線八山田側の工事施行をしていただいただけに、喜びも大きいものがあります。開通によって交通の利便性を図れると共に、郡山市や富田地域の発展にも大きい期待が持たれます。この内環状線問題を通し、人には正直な心と真摯な態度の大切さを確信致しました。

今後、残るは農業試験場本場跡地の問題が早急に解決できるよう努力して参りたいと思います。



2月議会 一般質問に登壇しました(3月3日)

Tomoko Nagao Report

一般質問の内容と当局の答弁についてお知らせ致します。

子育て支援について



問 知事は人間としての基礎をつくる子育てや子育てにどのように取り組んでいくのか。

答 ファミタンカード事業など地域全体で子育て支援をしていく体制づくりを進めている。又、今年度より、あらたに地域のお年寄りを始めとする住民の方々から次世代に伝える遊びや生活習慣、伝統文化など、寺子屋推進事業を行う。さらに保育所や認定子ども園整備、放課後児童クラブ助成など、各種施策を積極的に展開する。(知事)

発達障がい児支援について

問 1. 4、5ヶ月かかっている発達障がい支援センターの受診を短期間でできるよう対処すべき。

答 平成20年から専門医師を配置し相談支援や療育機能の強化を図っているが、発達障がい理解が深まったこともあり、相談者が増加し、受診までの期間を要している。業務体制の効率化、他医療機関との連携を図っていく。(保健福祉部長)

問 2. 市町村の個別支援計画策定に県はどのように支援するのか。

答 個別支援計画を導入する際の実践的な研修や先進事例の研究等に対し支援していく。(保健福祉部長)

問 3. 不安が多い発達障がい児の家族のため、交流拠点をモデル的につくるべき。

答 県内5地域で家族の交流のワークショップを開催している。今後、発達障がい児を育てた経験を生かし、家族の相談に応じる人材育成などを行い、家族交流の場の充実に努める。(保健福祉部長)

特別支援教育について

問 高等学校にも特別支援学級を設け、発達障がいを含む特別な支援を必要とする生徒に適切な指導を行うべき。

答 学校教育施行規定の中には定められていないが、国の有識者会議でも検討する必要があるとされ、今後の推移を見守ると共に特別支援を必要とする生徒への校内支援体制の充実に努める。(教育長)

教育環境について

問 1. 今後、自然体験が重視される中、福島県自然の家の指導員の増員を図るべき。

答 多様なプログラムの提案や利用者の自主的な活動の支援に必要な人員を配置している。又、広大な敷地の管理は地域のボランティアなどの協力も得ながら安心して活動できるよう努めている。(教育長)

問 2. 子ども農山漁村交流プロジェクトの受け入れ体制の整備について。

答 県全体の推進母体「ふるさと子ども夢学校推進協議会」を配置し、県内7方部15地域で受入れ、このうち4地域が国のモデル他に選定されている。今年度から県独自で支援を行うなど充実を図っていく。(観光交流局長)

学校6日制にすべき

問 今年度から指導要領で授業数も増加し、東京都も独自で土曜日の授業を行っている。福島県も独自で6日制に見直すべき。

答 学校教育法施行規定に抵触するので困難。今後公立学校にも私立学校と同様に裁量権を認めるなど、実績に応じ、可能となる制度に改めるよう、引き続き国に働き掛けていく。(教育長)

地域活性化について



問 1. 県内に地域産品にかかわる人々のネットワークが出来活力が出始めている。このネットワークの輪を広げるために県はどのように支援していくのか。

答 ふくしま地域産業も六次化戦略において、地域ネットワークの強化を図る。多様な主体を構成員とする地域や全県のネットワークを広め、複合的な連携交流を促すと共に人的交流と商品化に向けたマッチングなどを支援していく。(農林水産部長)

問 2. 地域の再生を向け住民等自ら取組む中心市街地の活性化にどのように関わっていくのか。

答 地域への愛着や誇りを持ちながら「人」中心のまちづくりをしている人や地域のネットワーク化を推進するため、地域で活躍している人々との意見交換や交流の場を設けるなど積極的に取組む。(商工労働部長)

問 3. 県職員が河川清掃やまつりのボランティアとして活動している姿が多く見られる。知事は県庁のトップとしてどのように考えるか。

答 県民の声は現場にあり。職員自ら地域活動に参加し共に考え悩み行動する職員が多数いることを心強く思っている。県職員であると共に、良い地域社会の一員としての県職員の育成に努める。(知事)

問 4. 三春の桜川のような川は、歴史や景観に配慮し、町づくりと一体となった川づくりを進めるべき。

答 川づくりは水害から生命や財産を守るため治水対策を進めているが、人々がいい、ふれあう空間としての水辺づくりや風情ある古い街並みを生かした川づくりにも取り組んでいく。(土木部長)



問 3. 夫婦で営む印刷屋のマウスパット商標や特許取得するなど、中小企業の事業化支援にどのように取り組むのか。

答 産学官連携による優れた技術シーズの発掘や製品開発を進めると共にハイテクプラザの技術支援やふくしま産業応援ファンド活用など、総合的な事業化支援を行う。(商工労働部長)

農業試験場跡地について

問 旧農業試験場跡地に隣接する土地所有者に対するアンケート結果と跡地利用について尋ねたい。

答 アンケート結果は跡地と民有地と一体的に整備すべき。福祉、医療などの生活支援サービスが立地するよう回答が寄せられた。又跡地は郡山市の中心部近くで広大な面積を有する土地であり、都市計画法上の規制などの課題もあり、有効活用するため早期に郡山市と密接に連携調整を行う。(総務部長)

誰もがいきいきと輝く
心豊かな社会をつくるために!!

行動する・走る
「うつくしま汗かき人」
長尾トモ子の日記から



12/21 **ものづくり連携大賞**
日大工学部、県立医大、
県内中小企業の総力



12/23 **逢瀬川掃除**
川は地球の血管です



12/13 **うねめ物語**
郡山の郷土ものがたりを文団連
加盟200人で上演



12/21 **白ポスト**
青少年に見せたくない雑誌を入れる
駅の白ポストの整理



1/4 **郡山新春祝賀会**
今年は縁子先生を中心に
女性の活躍を!!



1/8 **農始祭**
農は国の礎なり、豊穡を祈る



1/10 **成人式**
障がいのある子の成人を祝う会



1/11 **セイダカアワダチソウ**
皆で河川環境を守る
—外来種草を刈り取る—



1/23 **いわき市植田**
中心市街地活性化対策



1/24 **卸市場**
若者の職人わざ—マグロの解体



2/13 **R288 パイパス開通**
郡山—田村地方の
交通の利便性向上



2/14 **今泉女子ファッションショー**
職業専門学校で
ものづくりわざを身につけます



3/3 **一般質問登壇**
議員の質問に当局がどう答えるのが傍聴



3/8 **内環状線今秋開通**
約20年かかった内環状線
関係者の汗と涙に感謝



3/22 **一斉街頭演説**
パワフルに全国一斉街頭



3/29 **静御前例大祭**
静御前をしのび
歴史をたどる



3/29 **はなさと分園**
大町中心市街地に
子どもの声が響きます



4/1 **柏屋朝茶会**
郡山の誇り、柏の心
おもてなし



4/18 **開成山球場こけら落とし**



4/20 **ゲートボール**
生涯現役めざし元気高齢者



4/24 **アフリカに学校**
小さな善意で世界中の
子どもが輝きます



5/3 **大島けやき会**
地域は地域自らで守ります



5/9 **逢瀬川愛護会**
逢瀬川河川草刈り作業



5/19~21 **プルサーマル視察**
愛媛県伊方発電所
四国電力視察



5/21 **「坂の上の雲」秋山好古生家視察**
日本を愛し
日本人としての誇りを



5/22 **田植え体験**
子ども達に自然体験を通し
食に感謝する心を